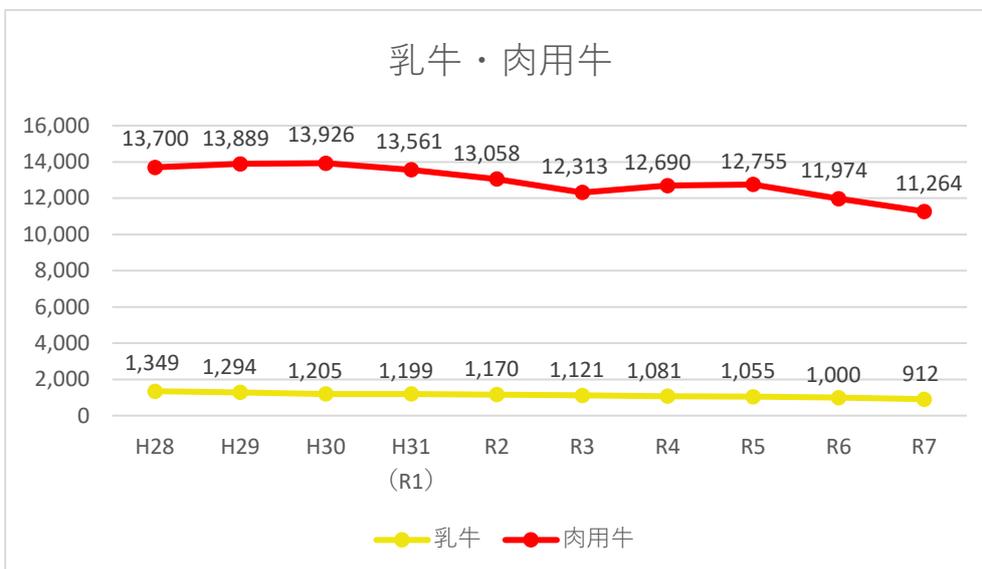
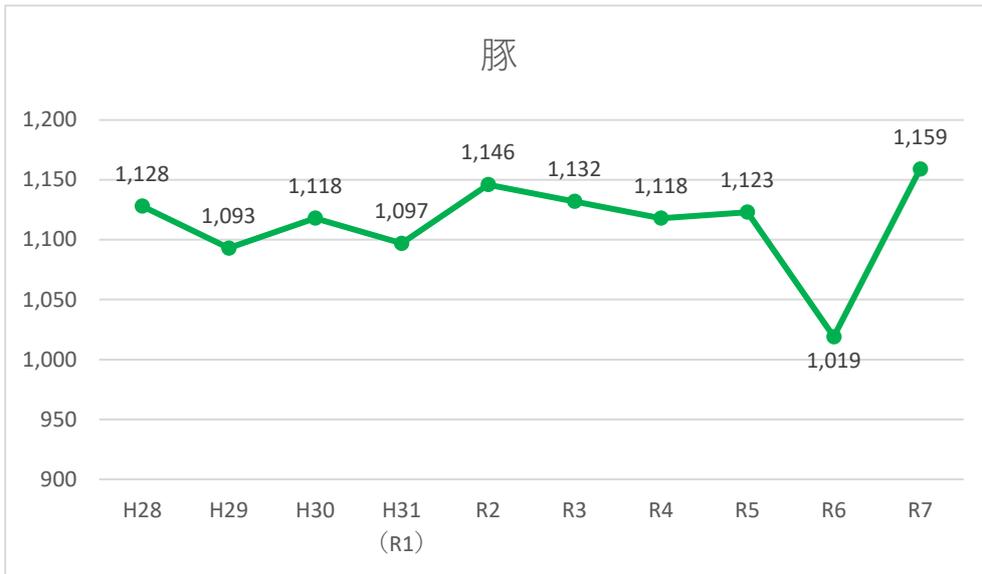
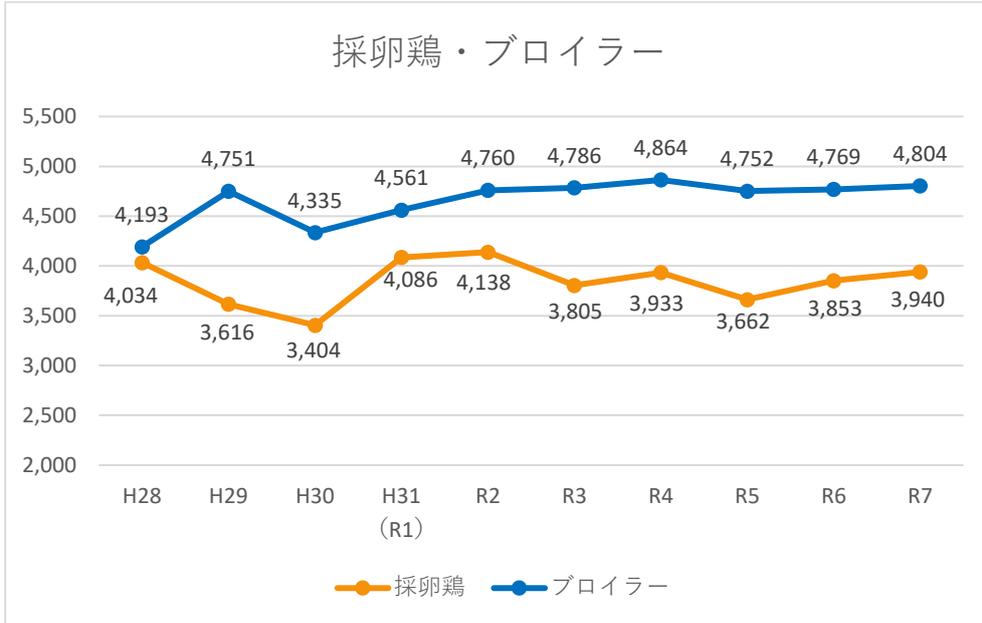


(1) 現状と課題の整理について

- 頭羽数の変遷
- 農業産出額の状況
- 畜種別の現状と課題
- 共通する課題

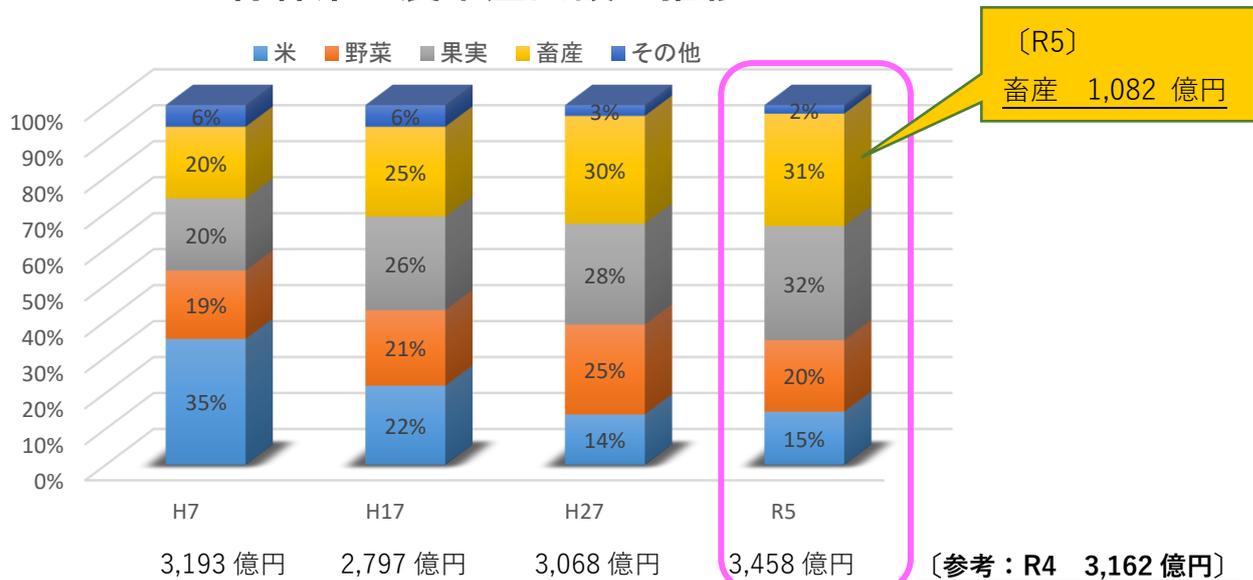
❖ 八戸圏域の頭羽数の変遷（10年間）



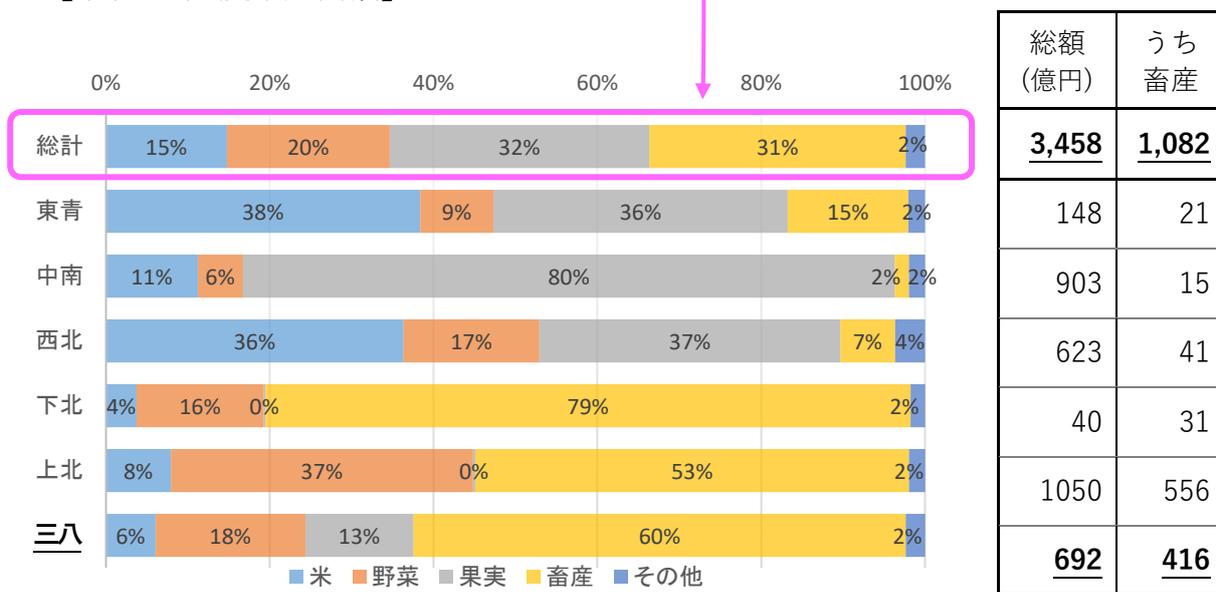
（資料：家畜伝染病予防法に係る定期報告書（八戸市集計））

❖ 農業産出額の状況

青森県の農業産出額の推移



【令和5年 農業産出額】



八戸圏域連携中枢都市圏 農業の総産出額 758 億円 うち畜産 424 億円

	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	計 (億円)
農業産出額	211.2	74.6	140.3	65.8	104.7	75.1	20.8	66.3	758.8
うち畜産	167.8	22.9	76.7	47.6	24.4	71.0	5.8	8.5	424.7

(資料：農林水産省 (市町村別農業産出額))

❖ 主要家畜飼養戸数・頭羽数の状況

(令和7年2月1日現在 単位：戸、頭・羽)

圏域全体

	採卵鶏		ブロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	14	4,034,456	47	4,193,201	29	112,848	35	1,349	257	13,700
H29	14	3,616,026	49	4,751,637	29	109,340	35	1,294	255	13,889
H30	16	3,404,239	55	4,335,722	28	111,859	29	1,205	250	13,926
H31 (R1)	16	4,086,463	57	4,561,182	26	109,789	31	1,199	248	13,561
R2	16	4,138,400	57	4,760,957	26	114,676	30	1,170	238	13,058
R3	13	3,805,145	50	4,786,483	25	113,293	29	1,121	229	12,313
R4	16	3,933,485	52	4,864,078	24	111,849	28	1,081	202	12,690
R5	19	3,662,779	58	4,752,114	22	112,328	25	1,055	210	12,755
R6	16	3,853,365	55	4,769,177	23	101,936	23	1,000	204	11,974
R7	15	3,940,496	63	4,804,894	23	115,985	19	912	188	11,264

八戸市

	採卵鶏		ブロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	5	1,261,905	5	350,400	7	42,056	6	261	29	1,998
H29	5	1,225,712	6	495,100	7	40,502	5	209	29	2,026
H30	5	1,218,285	6	495,500	8	41,923	5	196	28	1,963
H31 (R1)	4	1,224,196	7	641,900	8	39,892	5	176	26	2,007
R2	4	1,248,894	8	930,700	8	41,815	4	170	26	1,856
R3	4	1,055,126	8	887,380	8	41,401	4	167	26	1,729
R4	5	1,163,601	8	888,180	7	41,603	4	162	26	1,927
R5	5	1,209,335	9	754,800	7	42,085	3	153	26	2,024
R6	4	1,140,885	9	753,900	7	39,696	3	135	24	1,973
R7	4	1,215,292	9	745,100	7	42,183	2	95	21	1,960

三戸町

	採卵鶏		ブロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	-	-	9	600,100	2	25,747	3	95	57	1,408
H29	-	-	9	608,200	2	23,617	3	94	56	1,406
H30	-	-	10	576,000	2	24,211	3	91	56	1,265
H31 (R1)	-	-	11	585,600	2	24,727	3	95	56	1,333
R2	-	-	10	538,800	2	25,873	3	98	49	1,365
R3	-	-	7	476,200	2	25,404	3	89	48	1,295
R4	-	-	7	493,000	2	23,816	3	89	45	1,129
R5	-	-	9	491,000	2	25,481	3	100	41	1,253
R6	-	-	9	491,000	2	23,006	3	97	40	1,277
R7	-	-	9	491,000	2	25,541	3	102	34	1,232

五戸町

	採卵鶏		ブロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	3	990,100	7	877,635	2	1,007	-	-	30	2,965
H29	3	815,500	7	1,301,247	2	993	-	-	31	3,009
H30	5	632,500	10	799,796	1	600	-	-	29	3,272
H31 (R1)	6	1,076,068	10	842,402	1	600	-	-	29	2,916
R2	6	1,258,200	10	836,962	1	600	1	43	29	3,169
R3	3	1,005,008	7	833,912	1	600	1	43	28	2,793
R4	3	1,005,008	7	838,133	1	350	1	22	28	2,792
R5	6	790,133	9	839,910	-	-	-	-	25	2,791
R6	4	887,580	6	847,947	-	-	-	-	23	2,494
R7	3	758,924	6	846,414	-	-	-	-	25	2,526

田子町

	採卵鶏		ブロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	1	6,900	16	1,680,660	2	1,316	5	134	72	1,127
H29	1	6,800	16	1,657,760	2	1,295	4	127	72	1,248
H30	1	8,800	17	1,655,648	2	1,052	4	131	70	1,369
H31 (R1)	1	8,800	17	1,671,860	1	431	4	144	70	1,415
R2	1	6,500	18	1,663,260	1	537	4	157	68	1,455
R3	1	8,000	17	1,740,370	1	484	4	146	62	1,494
R4	1	8,000	17	1,783,320	1	40	4	150	59	1,492
R5	1	5,500	17	1,840,760	-	-	4	153	57	1,557
R6	1	5,150	18	1,832,230	1	360	3	136	57	1,485
R7	1	4,000	25	1,836,000	1	9,574	3	124	54	1,410

南部町

	採卵鶏		ブロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	-	-	7	337,500	2	1,939	2	75	21	1,139
H29	-	-	7	333,000	2	1,981	2	77	21	1,130
H30	-	-	9	454,196	2	1,939	2	69	20	1,194
H31 (R1)	-	-	9	459,700	2	2,331	2	66	19	971
R2	-	-	9	431,300	2	2,831	2	66	17	831
R3	-	-	9	458,100	2	2,955	2	63	15	481
R4	-	-	8	455,600	2	2,423	2	50	16	778
R5	-	-	9	436,900	2	2,446	2	58	16	778
R6	-	-	9	455,600	2	2,433	2	53	15	683
R7	-	-	8	451,700	2	2,053	1	23	13	597

階上町

	採卵鶏		プロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	4	1,526,200	-	-	5	20,691	8	250	10	492
H29	4	1,288,500	-	-	5	21,959	8	250	8	482
H30	4	1,267,100	-	-	5	22,616	5	155	9	444
H31 (R1)	4	1,497,410	-	-	5	21,724	6	182	9	433
R2	4	1,377,782	-	-	5	22,630	6	184	9	409
R3	4	1,457,033	-	-	5	24,094	5	165	10	416
R4	6	1,480,130	-	-	5	25,186	5	179	10	413
R5	6	1,379,940	-	-	5	23,608	5	185	10	362
R6	6	1,542,100	-	-	5	17,884	5	186	10	358
R7	6	1,679,600	-	-	5	18,852	3	171	9	125

新郷村

	採卵鶏		プロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	-	-	-	-	1	120	7	394	31	2,024
H29	-	-	-	-	2	113	7	379	30	1,934
H30	-	-	-	-	1	3	5	388	30	1,778
H31 (R1)	-	-	1	5,000	-	-	5	326	30	1,823
R2	-	-	1	5,000	-	-	5	282	31	1,728
R3	-	-	1	5,000	-	-	5	285	31	1,628
R4	-	-	1	1,500	-	-	4	285	28	1,745
R5	-	-	1	1,430	-	-	4	266	27	1,612
R6	-	-	1	2,000	-	-	3	252	27	1,516
R7	-	-	1	2,000	-	-	3	285	24	1,469

おいらせ町

	採卵鶏		プロイラー		豚		乳牛		肉用牛	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
H28	1	249,351	4	346,906	8	19,972	4	140	7	2,547
H29	1	279,514	5	356,330	7	18,880	4	144	8	2,654
H30	1	277,554	4	354,582	7	19,515	4	150	8	2,641
H31 (R1)	1	279,989	4	354,720	7	20,084	5	162	9	2,663
R2	1	247,024	4	354,935	7	20,390	5	170	9	2,515
R3	1	279,978	4	385,521	6	18,355	5	163	9	2,477
R4	1	276,746	4	404,345	6	18,431	5	144	9	2,414
R5	1	277,871	4	387,314	6	18,708	4	140	8	2,378
R6	1	277,650	3	386,500	6	18,557	4	141	8	2,188
R7	1	282,680	3	391,400	6	17,782	4	112	8	1,945

❖ 畜種別の現状と課題

(1) 採卵鶏

国内の消費動向	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的に高水準であるが、人口減少により、大幅な増加は見込めず、近年の1人当たりの消費量は横ばい。 ・爆発的に需要が伸びることはないが、消費量は安定している。
圏域内の状況	主に八戸市・五戸町・階上町・おいらせ町で生産され、生産量は横ばい～増加傾向にある。
懸念される事項	<ul style="list-style-type: none"> ・卵は生活必需品ではあるが、生産コスト上昇時に値上げをすると消費が減るほか、鶏卵相場を元に卸売価格が決まるため、価格転嫁が難しい。 ・高齢化、人手不足のため大規模化、自動化が急務であり、効率化を図る必要がある。 ・輸入依存の配合飼料がコストの中心。 ・鳥インフルエンザの脅威、防疫コストが大きい。

(2) ブロイラー

国内の消費動向	<ul style="list-style-type: none"> ・緩やかであるが、増加傾向。 ・2035年までに消費、生産を含む市場全体の量は約3.4百万tまで拡大するとされ、年平均約1.2%の成長が見込まれており、他の肉類に比べて需要が増える見込み。 ・鶏肉は日常食で使われる機会が多く、物価高における消費動向の変化の影響もあり、豚や牛よりも需要が伸びやすい傾向。
圏域内の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・主に八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・おいらせ町で生産され、生産量は増加している。 ・企業参入・大規模化が進んでおり、今後も需要増に合わせて生産量を伸ばす基盤がある。
懸念される事項	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の生産量を増やしていくためには、地域住民の理解を含めた、新しい事業地の確保が課題。 ・輸入依存の配合飼料がコストの中心。 ・鳥インフルエンザの脅威、防疫コストが大きい。

(3) 豚

国内の消費動向	<ul style="list-style-type: none">・緩やかであるが、増加傾向。・消費量は 180～230 万 t/年程度で、このうち国内生産量は約 90 万 t 前後で推移している。・日常的に必要とされる食材であり、物価高における消費動向の変化の影響もあり、国内需要はまだあると考える。
圏域内の状況	主に八戸市・三戸町・階上町・おいらせ町で生産され、生産量は増加傾向にある。
懸念される事項	<ul style="list-style-type: none">・飼料、燃料等の生産コストの上昇が国産豚肉の価格を押し上げており、消費が抑制される可能性がある。・輸入品との価格競争では不利であるため、高付加価値化が推奨される。・豚熱の脅威、防疫対策コストが大きい。

(4) 乳牛

国内の消費動向	<ul style="list-style-type: none">・生乳の消費（飲用＋加工向け）は安定して横ばい。・生乳総需要量は約 1,170 万 t（2023 年度）だが、国産生乳の生産量は約 730 万 t で、輸入乳製品に依存する部分がある。
圏域内の状況	主に田子町・階上町・新郷村で生産されており、頭数は減少傾向にある。
懸念される事項	<ul style="list-style-type: none">・高齢化、人手不足が深刻で、作業に多くの労働力が必要なため、自動搾乳や AI・ロボット導入などが急務である。・国内市場では大手乳業メーカーが価格交渉力を持つため、価格転嫁が難しく、生産コストの上昇が経営を圧迫する。・高付加価値化が比較的難しい。

(5) 肉用牛

国内の消費動向	<ul style="list-style-type: none">・横ばい～やや減少傾向。・輸入牛肉が国産牛肉をやや上回る状態が続いている。・和牛の需要は、外食では近年回復傾向にあるものの、家庭での消費は減少傾向にある。・消費者の価格意識に伴い、比較的価格が抑えられる交雑牛の需要が増える可能性がある。
圏域内の状況	主に八戸市・三戸町・五戸町・田子町・新郷村・おいらせ町で生産されており、頭数はやや減少傾向にある。
懸念される事項	<ul style="list-style-type: none">・家族経営の経営体が多く、規模拡大や効率化が進みにくい。・国内消費が減少しているため、輸出体制の整備や生産者の意欲向上が求められる。

❖ 共通する課題

- ①初期投資、設備投資にかかる経費が大きいこと
- ②用地確保の困難さ
- ③コスト高
 - ・ 飼料関係
 - ・ 物流
 - ・ 家畜排せつ物の処理
 - ・ エコフィードの活用
- ④労働力不足、後継者不足
 - ・ 人口減少
 - ・ 畜産に対するイメージ
 - ・ スマート農業化
- ⑤地域理解の促進